

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(河野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	支所等に求人票を置けないか	<p>松山市でも平成26年度から、ハローワーク(国の機関)の求人情報が活用できるようになったことから、松山市地域経済課に事務局を置く松山市地域雇用創造協議会のホームページで、求人票の内容の一部ではありますが求人情報を掲載し、週1回(木曜日)、更新しています。</p> <p>支所等には、ハローワークのように職業紹介を行える機能がないため、求職者の方には引き続き、「求人検索」から「相談」、「紹介」まで一括して、ハローワークで対応していただくこととなりますので、ご利用いただけたらと考えています。</p>	産業経済部
2	地域の向上支援員を配置してほしい	<p>松山市には「コミュニティアドバイザー」という制度があり、地域のまちづくりなど様々な分野に優れた4名の講師の派遣を行っているほか、愛媛大学と協働でまちづくりに役立つ人材育成講座として「地域づくり支援セミナー」を開催しています。</p> <p>河野地区でもこうした講座等をぜひ、ご活用いただけたらと思います。</p>	市民部
3	道が狭いところもあり、小型の救急車があれば早く救助できるのではないかと	<p>松山市の救急車は、救急救命士が高度な救命処置を行うための資器材を積載していることや、救命活動用の車内スペースを確保するため、小型の救急車ではなく高規格救急自動車を導入しています。</p> <p>また道路が狭く救急車が進入できない場合は、できる限り近くに停車して担架を使用しての搬送や消防隊や救助隊が出動して救急隊への支援を行うなどの体制を整えています。</p>	消防局
4	河野のよいところを活かしたまちづくりを進める人材育成について指導してほしい	<p>河野地区では、青少年健全育成の活動が熱心に行われ、公民館の親子ふれあい交流キャンプでは、PTAやスポーツ少年団等、地域の各種団体が協力して子どもたちの教育に取り組む中で、子どもたちの健全育成に資する人材の育成が行われています。</p> <p>また(先の2番にも関連があります。)松山市にはコミュニティアドバイザーという制度や「地域づくり支援セミナー」がありますので、ぜひ河野地区でもこうした講座等をご活用いただくことで、新たな人材が加わり、地域の魅力を活かす取り組みにつながるのではないかと考えています。</p>	市民部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(河野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
5	河野小学校前の記念碑の移転について	<p>小学校の記念碑が建っていた場所は、校舎の耐震補強・改築工事に伴って正門になることから、平成25年7月に学校敷地内の東側入り口付近へ移設しました。</p> <p>なお、この記念碑は、皆さんの意見をお聞きして、地震等の安全対策として、横に倒した状態で設置しました。</p>	教育委員会事務局
6	松の木池と片山新池の間の山林を、避難地を兼ねた里山整備はできないか。(遊歩道や間伐など)	<p>この里山(龍徳寺山)の南側には果樹園が広がっていますので、農業基盤整備を目的として農道を整備することができます。関係地権者の意見がまとまり、地元土地改良区等から申請書を提出していただければ、緊急度や事業効果等を検証して、事業に取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>なお、新たにこの里山を緊急避難場所として指定することについては、指定の基準や施設の整備環境、位置などを見極めたうえで検討していきたいと考えています。</p>	産業経済部 総合政策部
7	社会保障費(医療、介護)の抑制のため、1年間利用しなかったら特典があるようにするとよいと思う	<p>医療保険や介護保険を利用しなかった場合の特典については、社会全体で支えあう保険制度の目的に馴染みにくく、過度に利用を抑制したり、慢性疾患等への配慮から導入は難しいと考えています。</p> <p>市民の皆さんには、日頃からご自分の健康管理に留意して健康な生活を送っていただくため、引き続き、市民の健康増進、介護予防に積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p>	保健福祉部
8	善応寺への道路を拡幅してほしい	<p>この道路については、平成25年7月に善応寺地区の区長から道路整備の申請書をいただきましたので、同月、地元との話し合いを行い、農道整備事業として今年12月から2か年の工事として実施することになっています。</p> <p>測量設計や用地買収の準備を12月までに終了させ、その後は、道幅を4mに拡げる工事を県道側から約40メートルの区間を今年度中に、残りの約110メートルの区間は平成28年3月までに完成させる予定です。</p>	産業経済部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(河野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
9	高齢者見守りネットワークについて説明してほしい	<p>松山市では、民生児童委員や地域包括支援センターが、高齢者世帯の日常の実態や福祉ニーズの把握に努めていますが、近年の家族構成や生活様式の変化などが原因で近隣住民との付き合いが希薄化し、「孤立死」などが社会問題となっています。</p> <p>こうした中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の安全・安心の確保を目的として平成24年9月に、地域、民間、行政が一体となった「松山市見守りネットワーク」を作りました。</p> <p>このネットワークは、金融機関、電気、ガスなど20の事業者が業務中に察知した異変(数日間の新聞や郵便物が溜まっているなど)の情報をもとに、市や社会福祉協議会の職員が、民生児童委員のご協力をいただきながら現地に出向き、迅速かつ適切に対応します。</p> <p>このほか、独居高齢者みまもり員制度や緊急通報装置の設置、乳酸菌飲料の配付時や電話による安否の確認、配食サービスなど関係団体等と連携して、高齢者への福祉サービスを実施しています。</p>	保健福祉部
10	北条地域に児童館をつくってほしい	<p>松山市には、現在7箇所の児童館・児童センターがあり、後期まつやま子育てゆめプランでは、さらに1箇所の整備を計画しています。</p> <p>これまでのタウンミーティングで多くの地区から児童館整備の要望をいただき、「既存の児童館からの距離を考えると北条地域が有力な候補地」との考えのもと、地域の皆さんの声をお聴きすることが重要であると考え、場所や児童館に求める機能などを協議していただきました。</p> <p>その中で、「公園や図書館などの既存施設とともに家族で1日楽しめる」、「北条地域の中心にあり、道路も整備されていてどこからでも行きやすい」などの理由から、河野別府の「文化の森」が良いとの結論をいただきました。</p> <p>松山市では、この協議結果を受けて、「文化の森」への整備を優先して今後進めていきたいと考えています。</p>	保健福祉部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(河野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
11	街灯が少なく、夜は危ないので街灯を増やしてもらいたい	<p>松山市では、夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全で安心なまちづくりに役立つ防犯灯を町内会や自治会が設置する場合、設置工事費を助成する制度を設けています。町内会や自治会などに設置や維持管理をしていただくこととなりますので、お住まいの地区の町内会長さんにご相談ください。</p> <p>河野地区では、町内会からの申請により、平成24年度1灯、平成25年度8灯、平成26年度(9月末)6灯を新設しています。</p>	市民部
12	高縄山のトイレを改修してほしい	<p>現在、高縄山の山頂付近のトイレは、駐車場から徒歩5分の「高縄寺」と車で3分のところにある「高縄山総合作業所」の2箇所にあります。その内、「高縄山総合作業所」のトイレは、洋式トイレが設置されています。</p> <p>松山市では、駐車場に「高縄山総合作業所」のトイレを示す看板を設置し、登山客や行楽客などへの案内に努めています。</p> <p>駐車場へのトイレの整備については、かねてから地元の要望もありますことから、給排水の問題や費用対効果を含め、調査研究しています。</p>	坂の上の雲 担当部
13	中須賀区の倒れた防災スピーカーを再建してほしい 中須賀集会所のスピーカーが聞こえない	<p>平成26年10月1日のデジタル防災行政無線の運用開始に伴い、既存のアナログ防災行政無線は不要となるため原則撤去しますが、北条地区では防災行政無線を地区放送として利用してきた経緯がありますので、地区放送の重要性を考慮し、継続利用を希望する地区へ既存設備を譲渡します。</p> <p>中須賀地区については、平成26年6月10日に河野地区の区長会で譲渡に関する内容を説明した後、譲渡の希望をお伺いしました。そこで平成26年9月24日に区長と調整を行い、今年度末までに必要な修繕を行い、地元へ譲渡することにしていきますので、今後もご利用いただける状態となる予定です。</p>	危機管理担 当部
14	高山川右岸河野五明線の改良を進めてほしい	<p>市道河野五明線について、中須賀橋から下流側は合併建設計画の中で整備する路線として、国からの交付金を活用し、平成26年8月に県道交差点付近まで整備が完了しました。</p> <p>中須賀橋から上流側は、タウンミーティング後の平成25年3月に地域の関係者の皆さんと現地で立会し、平成25年8月に国道までの歩道整備の要望書(延長200m)をご提出いただきました。今年度は12月から測量に着手する予定となっています。</p>	都市整備部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(河野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
15	バイパスが整備されても、開発が進まない。市街化区域を広げてほしい	<p>松山市では、「都市計画法」に基づき、すでに市街地を形成している区域や計画的に市街化を図るべき区域を「市街化区域」、また、自然環境を保護し、優良な農地として保全するなど、市街化を抑制する地域として「市街化調整区域」を定め、一定のルールに基づいて建物制限などを行っています。</p> <p>無秩序にまちが広がれば、道路や下水道などの公共施設が非効率に造られたり、まとまっている農地に住宅等が混在して、優良な農地を喪失するおそれがあることなどから、都市計画法では、現状の市街地で、人口の増加や産業の立地などに必要な土地の確保ができない場合に、市街地の拡大を考慮するとされています。</p> <p>こうした中、市街地の拡大の決定権者である愛媛県では、松山市でも将来人口や世帯数の減少が予想されていて、現状の市街地内で土地の確保が可能であることから、市街地の拡大は予定していないと伺っています。</p>	都市整備部
16	道路整備の用地提供について、建築後退を超える部分も提供なのか	<p>生活道路の整備は、乗用車のすれ違いや消防活動を考慮して、幅5mを標準としています。この場合、道路の拡幅に必要な用地は、建築後退の幅の4mまでを寄付、それを超える部分を買収としています。</p> <p>なお、計画交通量が極めて少なく、地形の状況や住宅が密集しているなど、特別な環境の場合は、幅4mの道路整備も行いますが、その際必要な用地は寄付とさせていただきます。</p>	都市整備部
17	消防北条支署は海岸近くにあり、災害時の活動に支障が出ないか心配。移転を考えているのか	<p>中央消防署北条支署は、愛媛県が公表した地震被害想定によると、海岸近くではありませんが津波の影響を受けない場所に位置しています。</p> <p>また、管轄区域のほぼ中央に位置し、幹線道路沿いに立地していることから、通常の出動に効率がよく、現在のところ移転の予定はありません。</p>	消防局